

速効・超速効型インスリン・フォーミュラー

2025.11 作成 薬剤部

【監修】 血液内科 林 俊輔

● 第一推奨薬

ヒューマログ注ミリオペン（成分：リスプロ） 1,156 円 /キット

インスリン リスプロは小児適応を有すること、「妊娠糖尿病」に対する使用が診療報酬支払基金の審査上認められていること、医薬品の胎児に対するリスク分類基準のオーストラリア分類で A とされていること、臨床試験で先行バイオ医薬品と同等性が認められたバイオ後続品も選択できることから第一推奨薬とした。

※ バイオ後続品の品薄が改善され次第、インスリン リスプロ BS 注ソロスター HU「サノフィ」へ切り替え

● 第二推奨薬

インスリン アスパルト BS 注ソロスターNR「サノフィ」 1,248 円 /キット

インスリン アスパルトも同様に小児適応を有する。「妊娠糖尿病」に対する使用が診療報酬支払基金の審査上認められており、オーストラリア分類で A とされ、臨床試験で先行バイオ医薬品と同等性が認められたバイオ後続品も選択できるものの、バイオ後続品のプレフィルド製剤はインスリン リスプロより高価であることから第二推奨薬とした。

※条件付き使用推奨薬剤

ルムジェブ注ミリオペン 1,305 円 /キット

インスリン リスプロ（ルムジェブ®）は、食事開始後の投与が承認されていることから、「食事開始後投与が必要な患者」を条件とする条件付き使用推奨薬とした。

◆ 外来患者においてインスリン製剤の急な変更は誤投与等のリスクを伴うため、

以下の 3 剤は次回 2026.1 の薬事委員会までに意見を募り、問題なければ院外限定へ変更

ノボラピッド注フレックスペン（成分：アスパルト） 1,380 円 /キット

→ バイオ後続品の採用があり、院内採用は不要のため

アピドラ注ソロスター（成分：グルリジン） 994 円 /キット

1 型糖尿病患者の HbA1c 改善効果について、インスリン リスプロに対する非劣性が確認されているものの、第一・第二推奨薬と比較して妊娠中の糖代謝異常に使用した場合の安全性が確立されておらず、院内採用削除とした

ノボリン R 注フレックスペン

バイアル製剤は糖尿病昏睡には必要に応じて静脈内注射、持続静脈内注入又は筋肉内注射が可能であり、糖尿病診療ガイドライン 2019 において糖尿病（性）ケトアシドーシス及び高浸透圧高血糖状態には速効型インスリンの少量持続静注を行うことが推奨されているものの、自己注製剤は院内採用削除とした